

■ 島根県公立大学法人評価委員会からの平成26年度業務実績に関する評価を受けての改善策

評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)	島根県立大学の改善策
<p>◆7つある全学センターの活性化を図るため、少なくとも年1回は全学センターに所属する教員が情報交換や交流を促進するための機会を設ける計画であったが、キャリアセンターでは実施することができなかった。(全学) 【No30-2】</p>	<p>年度当初に、全学運営組織を所管する事務局関係課室長あて下記について周知した。 ○毎年度、全学運営組織は全学で取り組むテーマを設定すること。 ○年1回以上、それぞれの全学運営組織に所属する委員全員で顔をあわせ、協議、研修等を実施する。 ○年1回以上、各センター長が学長に面談し、取り組みの成果や今後の取り組みテーマ等について協議する。</p> <p>この結果、平成27年度は全ての全学運営組織で委員全員が顔を合わせた協議、研修会が実施された。</p>
<p>◆『北東アジア創成シリーズ』第3、4巻を刊行し、第5巻の執筆に着手するという計画であったが、いずれの巻も計画達成ができなかった。 【No.47-2】</p>	<p>平成27年11月12日(木)に第4回編集委員会を開催し、各執筆者の進捗状況、今後の見通しを確認、刊行計画を以下のとおり修正した。今後、必要に応じて編集委員会を開き執筆状況の確認した上で、新たな刊行計画を厳守することを申し合わせた。</p> <p>第3巻：平成28年秋脱稿、年内に刊行予定。 第4巻、第5巻、第6巻：平成28年度から平成29年度の間、脱稿したものから順次刊行予定。 第7巻(最終巻)：平成30年3月脱稿予定。平成30年度内にシリーズ完成予定。</p>